

授業概要

学校教育は、教師が一方的に知識や技能を教授する場ではない。子供が主体的かつ対話的、協働的に学習することにより学びの場は生成される。本授業では、本講義では、中学校教諭及び附属小学校長の実務経験を活かし、具体的な事例を示しながら、学びの場を生成するための教育の方法及び技術に関する基礎的な知識と理論を解説する。また、総合的な学習の時間に関して、そのねらいを把握すると共に、実践的指導力の基盤を培うことを目的とする

授業計画

第1回	教育の方法と技術とは何かー教育の方法と技術とは何かー
第2回	教育方法の歴史ー学習指導の原理と形態ー
第3回	授業デザイン①ー教育目標・教育内容から学習指導計画へー
第4回	授業デザイン②ー学習指導案の構想と作成ー
第5回	授業展開の技術
第6回	教育メディアの活用と教材開発
第7回	プログラミング教育
第8回	総合的な学習の時間とはー自身の経験の振り返り
第9回	総合的な学習の時間導入の背景
第10回	教科の総合化と分化の関係ー教科横断的な教育課程とは
第11回	総合的な学習の実践の検討ー歴史的实践に学ぶ
第12回	総合的な学習の時間の先進的な実践に学ぶ
第13回	総合的な学習の時間を構想する
第14回	模擬授業の実際
第15回	教育評価の理論と方法
第16回	定期試験

到達目標

これからの社会を担う子供たちに求められる資質・能力を理解し、その育成するために必要な、教育の方法、教育の技術、情報機器及び教材の活用に関する知識・技能を身に付ける。また、総合的な学習の時間の意義や、実施のために必要な基礎的な能力を身に付ける。

履修上の注意

- 1) 模擬授業の準備、実施、改善の努力が求められる。
- 2) 毎回、シャトルカード（大福帳）に記入が求められる。
- 3) 2/3以上の出席を要す。

予習・復習

- 1) 第1回目には、テキストの第1章及び第2章を読み、理解してくること。
- 2) 毎回、次回に向けて小課題が出されるので、次時まで確実にそれを行ってこよう。

評価方法

2本のレポート(30%)と、最終に筆記試験(50%)を課す。また、毎時間、授業内容に関するコメント(10%)を書かせる。予習復習を含めた宿題、講義中の演習や作業への参加度(10%)も加味する。

テキスト

- 『未来を拓く教師のわざ』、生田孝至他編、一莖書(2016)
『中学校学習指導要領〈平成29年告示〉解説・総合的な学習の時間編』文部科学省(2018)
『高等学校学習指導要領〈平成30年告示〉解説・総合的な探究の時間編』文部科学省(2019)